

<成城大学生が選ぶ“キャンパスで好きな場所”>

PC ルームがまるでカフェテリア！ アクティブ・ラーニングを実践できるスペースに ラウンジナンバーエイト 「Lounge # 08」学生の利用率もアップ！

成城大学（東京都世田谷区 学長：戸部 順一）は、成城学園創立 100 周年にあたり、大学や教育について学生がどのように感じているか、社会イノベーション学部青山征彦教授とマスコミ研究会（学生団体）の有志で成城大学生 507 名にアンケートを実施いたしました。アンケートの一つ「キャンパスのなかで好きな場所はありますか？」の問いに対し、リニューアルした PC ルーム「Lounge#08（ラウンジナンバーエイト）」が多くあげられました。

成城学園 100 周年事業の取り組みとして、PC ルームからアクティブラーニング施設として生まれ変わった「Lounge#08」は、PC 学習ルーム以外に、学生同士の交流、イベントスペース、ミニ講演会（勉強会）など、様々な学習形態の場として活用されています。



PC は持ち込みも可能



【カフェのような施設で利用率も学習意欲もアップ！】

成城大学では 2013 年より、アクティブ・ラーニング（能動的で主体的な学習）を実践できるスペースを拡充してきました。2016 年にリニューアルした Lounge#08 は、これまで“一人静かに学習する”パソコンルームのイメージを一新し、学生同士が向き合って話ができる場となりました。内装も学習意欲や利用率を高められるようカフェテリアのようなラウンジへと変更し、飲食も可能にしました。貸出 PC は利用状況など SNS で簡単に見られることから、想定以上に自主学習する学生の利用率が高まっています。

【充実した機器でイベント時にも活用】

ラウンジ内では無線 LAN を備え、貸出 PC を用意しているほかオンデマンドプリンターや 4K 対応のプロジェクターもあることから、ゼミの発表や講演会、ハロウィンイベントなど、様々な学習形態に対応しています。施設の名は、大学 8 号館にあることとラグビーでスクラムの最後方に立ち、守備・攻撃の両面においてチームを支える役割である N08 にちなんで、このラウンジが学生たちの「学び」を後方からしっかりと支えていくよう「Lounge#08」と名づけられました。